

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大分県立看護科学大学

平成 30 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

| |
|---|
| <p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。 |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公立大学法人大分県立看護科学大学における研究の倫理・安全に関する指針 ② 研究計画の申請に関する手引き ③ 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程 ④ 実験動物施設利用マニュアル ⑤ 実験動物施設等における緊急時対応マニュアル ⑥ 公立大学法人大分県立看護科学大学遺伝子組換え実験安全管理規程 ⑦ 発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する要領 ⑧ X線を用いた動物等の実験に関する要領 |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>規程やマニュアルの改正や新規要領の作成を行い、基本的指針に適合する機関内規定を定めた。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当事項無し</p> |

2. 動物実験委員会

| |
|--|
| <p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。 |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程 ② 動物実験小委員会名簿 ③ 公研究倫理・安全委員会名簿 |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験小委員会を設置し、適正に運営している。また、同委員会及び研究倫理・安全委員会によって、適正に動物を用いた実験計画が審査・承認されている。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当事項無し</p> |

3. 動物実験の実施体制

| |
|---|
| <p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。 |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程 ② 実験動物施設利用マニュアル |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>実験計画書の立案、審査、承認結果の報告等、実施体制が適正に定められている。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当事項無し</p> |

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

| |
|---|
| <p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。 |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程 ② 実験動物施設利用マニュアル ③ 実験動物施設等における緊急時対応マニュアル ④ 公立大学法人大分県立看護科学大学遺伝子組換え実験安全管理規程 ⑤ 発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する要領 ⑥ X線を用いた動物等の実験に関する要領 |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>昨年度の自己評価を踏まえ、発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する要領と X 線を用いた動物等の実験に関する要領を作成した。また、原則、病原性微生物に感染した動物の搬入は禁止されており、病原体の感染動物実験は実施していない。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当事項無し</p> |

5. 実験動物の飼養保管の体制

| |
|---|
| <p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程 ② 実験動物施設利用マニュアル ③ 動物施設利用者登録申請書 ④ 実験動物施設設置承認申請書 ⑤ 実験室設置承認申請書 |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>管理者、実験動物管理者、動物実験責任者、飼養者を把握できる体制となっている。 _ 実験動物施設、動物実験を行う実験室に関する規程が定められている。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当事項無し</p> |

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

| |
|---|
| <p>本学では、動物実験計画書の研究期間を最長3年としているが、短期間の実験を数クール行う実験に関しては、動物の搬入毎に「搬入届」「終了届」を提出することとし、動物実験の実施体制を第三者が把握できるようにしている。また、年度初めに動物施設利用者登録申請書を提出し、動物実験小委員会委員長の許可を得ねば、動物施設で動物を飼養できないこととしている。</p> |
|---|

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

| |
|--|
| <p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験小委員会議事録</p> |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験に関する研究計画書の審査を適正に実施している。</p> |

4) 改善の方針、達成予定時期

該当事項無し

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ① 研究計画書
- ② 搬入届
- ③ 終了届
- ④ 動物出入記録表
- ⑤ 実験結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

研究計画は、委員会の審査を経て学長が承認あるいは却下している。また、動物の搬入、飼育、終了に関しても適切に実施されている。また、年度末に、動物実験を適正に実施したかの実施結果報告書を提出している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当事項無し

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ① 研究計画書
- ② 搬入届
- ③ 終了届
- ④ 動物出入記録表
- ⑤ 実験結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

放射線照射は安全区域内（第3実験室）で実施されている。

遺伝子組換え動物は、専用の飼育室で飼育する。
 実験動物施設の飼育室等5箇所および実験室にネズミ返しが設置されている。
 全ての飼育室および実験室にネズミ取りホイホイと捕獲網が設置されている。
 運搬に際しては密閉容器（エコンアーク）を使用する。特に遺伝子組換え動物の運搬では、ロック付きのエコンアークを使用し、外側に「取扱注意」のシールを貼る。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当事項無し

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ① 実験動物施設利用マニュアル
- ② 実験動物施設利用者登録申請書
- ③ 実験動物施設設置承認申請書
- ④ 実験室設置承認申請書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物の飼養保管は適切に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当事項無し

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程
- ② 実験動物施設利用マニュアル
- ③ 動物施設利用者登録申請書
- ④ 実験動物施設設置承認申請書
- ⑤ 実験室設置承認申請書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

| |
|---|
| ① 温湿度、照度計を設置し、モニタリングしているがリアルタイムでこれら指標の異常を知るシステムが無い。 ② 施設の老朽化に伴い、雨漏りが頻発している。 ③ 除湿機がなく、結露するときがある。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 ① 動物出入り記録表を見直し、飼養者が、温湿度等の異常を検知する仕組みを作る。 ② 修理に対する予算申請、承認は終了し、30 年度に屋根の葺き替えを行う。 ※①と②は、平成 30 年度に対応済みである。 ③ 除湿の対策を検討する。 |

6. 教育訓練の実施状況

| |
|--|
| 1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 ① 平成 29 年度動物実験小委員会活動報告 ② 看護研究の基礎「実験研究」配付資料 ③ 看護研究の基礎「研究の倫理と安全」配付資料 ④ 人獣共通感染症講義配布資料 |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 年度初めに、研究責任者、飼養者全員を対象に、動物実験の倫理および施設の使用方法についての講習会を行った。また、学外講師を招いて人獣共通感染症に関する講義を行っており、教育訓練は適切に実施されている。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 該当事項無し |

7. 自己点検・評価、情報公開

| |
|--|
| 1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 動物実験小委員会ホームページ http://www.oita-nhs.ac.jp/about/disclosure/anim |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） |

公開すべき情報は、上記 URL の HP に公開している。本学トップページにバナーを設け、学外者がアクセスしやすい構造にしている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当事項無し

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。